

# 木育スポーツ大会（モルック）

## まきのさんの道の駅・佐川杯 大会ルール

ルールについては、日本モルック協会が示す内容に準拠します。

一部ローカルルールを設定しています。

1. モルックセットは佐川おもちゃ美術館オリジナルを使用します。  
モルツカーリ、スキットルの設置は日本公式モルック協会と同様です。
2. モルックは必ず下手投げでスキットルに向けて投げます。その際、モルツカーリに触れたり、踏み越えたり、両端からはみ出した場合はファールとなり、その投てきは 0 点となります。  
➡（今大会では、注意に留めますが、繰り返し行った場合はファールとする場合もあります。）
  - ・スキットルが 1 本だけ倒れた場合 ➡ そのスキットルに書かれた数字が得点になります。
  - ・スキットルが複数倒れた場合 ➡ 倒れた本数が得点となります。
  - ・スキットルが倒れなかった場合 ➡ ミスショットで得点は 0 点です。

※スキットル同士が重なったり、モルックの上に乗ったりなど、スキットルの側面が完全に地面に触れていないスキットルは倒れたことにならず、得点に数えません。

※同チームで 3 回連続ミスショット及びファールをすると失格になります。そのゲームの得点は 0 点で終了となります。1 チーム以外のすべてチームが 3 回連続ミスショット等により失格となった場合、残った 1 チームの得点は自動的に 5 0 点となります。
3. 点数を確認後、倒れたスキットルは、倒れているその場で（スキットルが接地している根元を中心に）起し、数字の面がモルツカーリに正対するようにします。ファールの場合でも倒れたスキットルは倒れている場で起こします。  
※スキットル起しの作業は、大会スタッフが行います。
4. スキットルをすべて起こしたら、次の投てき者が投げます。
5. 投てきを重ね、合計点がぴったり 50 点になったチームが勝ちとなります。残りのチームはその時点での得点がゲーム終了時の得点となります。※時間制限も設けます。  
ゲーム途中で 5 0 点を超過してしまうと、獲得点数は 2 5 点までもどることになります。  
（例えば、4 8 点時にスキットルを 3 本倒した場合など）
6. 試合について  
試合は 8 チームのトーナメント戦とします。  
前半と後半で分け、前半 2 チーム× 2 組、後半 2 チーム× 2 組対戦します。  
勝った 2 チームずつ計 4 チームによる準決勝、準決勝で勝った 2 チームによる決勝戦を行います。  
試合は 1 試合 2 0 分の制限時間を設け、試合終了の際は合図を鳴らします。合図が鳴ったらそのター

ンで試合終了です。例えば、Aチームが10 ターン目の投てきが終わりに、ここで終了合図が鳴った場合、残りのB、Cチームも10 ターン目の投てきを行いゲームセットとします。

その時点での得点を獲得点とします。

#### 7. チーム編成

1 チーム2人～3人で編成します。(1 ターンにつき各チーム1人の投てき) チーム内で投てきの順番を決めておいてください。試合の間は投てきの順番を変えることはできません。

#### 8. モルックを投げる(投てき) 順番

【Aチーム,Bチーム,Cチーム 3 チームによるチーム戦の場合】

Aチーム①②③ (3 人) / Bチーム①② (2人) ①が2回 / Cチーム①② (2人) ②が2回

A①→B①→C① (第1ターン)

→A②→B②→C② (第2ターン)

→A③→B①→C② (第3ターン)

→A①→B①→C① (第4ターン)

→A②→B②→C② (第5ターン) . . . .

#### 9. 投てき時間

投てきに係る制限時間は設けませんが、30秒以内を目安に投てきを行ってください。

※長考している場合、投てきを促す場合もあります。

#### 10. セルフジャッジについて

今大会は大会スタッフが審判を行います。